

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年12月27日

【四半期会計期間】 第45期第3四半期(自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日)

【会社名】 株式会社オークワ

【英訳名】 OKUWA CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 神 吉 康 成

【本店の所在の場所】 和歌山県和歌山市中島185番地の3

【電話番号】 073(425)2481(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役執行役員財務本部長 森 川 昌 幸

【最寄りの連絡場所】 和歌山県和歌山市中島185番地の3

【電話番号】 073(425)2481(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役執行役員財務本部長 森 川 昌 幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第44期 第3四半期 連結累計期間	第45期 第3四半期 連結累計期間	第44期
会計期間		自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日	自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日	自 平成24年2月21日 至 平成25年2月20日
売上高	(百万円)	213,635	208,558	288,184
経常利益	(百万円)	3,449	2,190	5,541
四半期(当期)純利益	(百万円)	1,486	285	1,495
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,419	769	1,920
純資産額	(百万円)	79,593	79,699	80,090
総資産額	(百万円)	140,976	141,558	139,066
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	33.25	6.39	33.46
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		6.39	
自己資本比率	(%)	56.5	56.3	57.6

回次		第44期 第3四半期 連結会計期間	第45期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年8月21日 至 平成24年11月20日	自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	10.04	1.43

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第44期第3四半期連結累計期間及び第44期における潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策が徐々に実体経済に波及し、輸出企業を中心に景気回復の兆しが見えてきておりますが、海外経済の下振れ懸念、円安に伴う原材料価格の上昇などの影響により、先行き不透明な情勢であります。

小売業界におきましては、電気料金の値上げや、円安による原材料価格値上げなどの影響を背景に、消費者の節約志向・低価格志向が続き、さらに企業間の価格競争が増すなど、非常に厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社は『お客様第一主義、商品改廃のスピードアップ、業務改革の断行で、成長発展に全力を尽くそう』を本年度スローガンに掲げ、業務を進めてまいりました。業務改革については、モデル店舗を中心に全社ベースで業務の見直しを行っております。

(株)オークワは、3月にスーパースーパーマーケット業態の「三田店」（兵庫県三田市）の1店舗を新設しました。また、スーパーセンター業態の「上富田店」（和歌山県西牟婁郡上富田町）とスーパースーパーマーケット業態の「橿原坊城店」（奈良県橿原市）、「高田神楽店」（奈良県大和高田市）、橿原醍醐店（奈良県橿原市）は既存店活性化のための改装を実施いたしました。なお、「パレマルシェ西尾店」（愛知県西尾市）は駅ビル再開発に伴い、8月18日をもって営業を終了し、スーパーマーケット業態として、8月21日に近隣へ移転オープンいたしました。

当第3四半期連結累計期間の業態別の販売状況は、豊富な品揃えと低価格を実現したスーパーセンター業態は好調に推移したものの、その他の業態は既存店ベースで前年を下回りました。

また、東海エリアにおける物流機能の向上と物流コストの削減、店舗ローコスト運営の支援のための新たな物流拠点として、10月に「東海食品センター」（愛知県春日井市）を稼働させました。

連結子会社については、外食の(株)オークフーズは経費節減により経常損益の赤字幅は縮小いたしました。また、食品スーパーの(株)ヒラマツは、経常増益で堅調に推移しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益（売上高及び営業収入）は2,155億82百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は18億67百万円（前年同期比40.6%減）、経常利益は21億90百万円（前年同期比36.5%減）、四半期純利益は2億85百万円（前年同期比80.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ24億91百万円増加し、1,415億58百万円となりました。

増減の内訳としては、流動資産では1億84百万円の増加であり、これは流動資産の「その他」が7億19百万円、受取手形及び売掛金が2億56百万円増加した一方、現金及び預金が7億2百万円減少したことによるものであります。

固定資産では23億6百万円の増加であり、これは主に東海食品センター建設により建物及び構築物が19億37百万円増加したことによるものであります。

負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ28億82百万円増加し、618億58百万円となりました。

増減の内訳としては、流動負債では22億48百万円の増加であり、これは主に支払手形及び買掛金が13億36百万円、短期借入金が4億円、1年内返済予定の長期借入金が2億57百万円、流動負債の「その他」が2億54百万円増加したことによるものであります。

固定負債では6億34百万円の増加であり、これは主に長期借入金が8億25百万円、資産除去債務が3億79百万円増加した一方、固定負債の「その他」が4億70百万円減少したことによるものであります。

純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億90百万円減少し、796億99百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が4億83百万円増加した一方、利益剰余金が8億76百万円減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設等について、当第3四半期連結累計期間に完了したものは次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	完了年月
(株)オークワ	東海食品センター (愛知県春日井市)	スーパーマーケット事業	物流・加工設備	平成25年10月

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	159,605,000
計	159,605,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年12月27日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	45,237,297	45,237,297	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	45,237,297	45,237,297		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年8月21日～ 平成25年11月20日		45,237		14,117		14,027

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年8月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年8月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 555,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 44,096,000	44,096	
単元未満株式	普通株式 586,297		
発行済株式総数	45,237,297		
総株主の議決権		44,096	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式947株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オークワ	和歌山県和歌山市中島185番地の3	555,000		555,000	1.23
計		555,000		555,000	1.23

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
常務取締役執行役員 開発本部長	常務取締役執行役員 人事総務本部長兼 開発本部長	福住 哲也	平成25年11月19日
取締役執行役員会長補佐 人事総務本部長兼 グループ経営改革管掌	取締役執行役員会長補佐 (グループ経営改革管掌)	大桑 俊男	平成25年11月19日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年8月21日から平成25年11月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年2月21日から平成25年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,550	11,847
受取手形及び売掛金	2,287	2,543
商品及び製品	10,121	10,033
その他	2,514	3,233
貸倒引当金	5	5
流動資産合計	27,468	27,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,721	47,659
土地	35,724	34,880
その他(純額)	7,468	8,473
有形固定資産合計	88,913	91,013
無形固定資産		
のれん	341	-
その他	4,501	4,421
無形固定資産合計	4,843	4,421
投資その他の資産		
その他	18,276	18,932
貸倒引当金	435	462
投資その他の資産合計	17,841	18,470
固定資産合計	111,598	113,904
資産合計	139,066	141,558
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,864	15,201
短期借入金	8,540	8,940
1年内返済予定の長期借入金	3,012	3,269
その他	15,737	15,991
流動負債合計	41,154	43,402
固定負債		
社債	500	400
長期借入金	6,907	7,733
退職給付引当金	116	115
資産除去債務	881	1,261
その他	9,416	8,946
固定負債合計	17,822	18,456
負債合計	58,976	61,858

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	15,024	15,024
利益剰余金	51,372	50,496
自己株式	741	747
株主資本合計	79,772	78,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	801
その他の包括利益累計額合計	318	801
新株予約権	-	7
純資産合計	80,090	79,699
負債純資産合計	139,066	141,558

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)
売上高	213,635	208,558
売上原価	159,810	156,125
売上総利益	53,824	52,433
営業収入		
不動産賃貸収入	3,084	2,960
その他の営業収入	4,132	4,062
営業収入合計	7,216	7,023
営業総利益	61,041	59,456
販売費及び一般管理費	57,899	57,589
営業利益	3,142	1,867
営業外収益		
持分法による投資利益	68	57
受取手数料	300	280
その他	277	236
営業外収益合計	647	573
営業外費用		
支払利息	157	134
消費税等調整額	75	-
その他	107	115
営業外費用合計	340	250
経常利益	3,449	2,190
特別利益		
固定資産売却益	0	137
賃貸借契約解約益	29	10
収用補償金	313	-
その他	16	18
特別利益合計	359	165
特別損失		
固定資産除却損	78	38
減損損失	640	1,221
その他	8	45
特別損失合計	727	1,305
税金等調整前四半期純利益	3,081	1,050
法人税等	1,595	765
少数株主損益調整前四半期純利益	1,486	285
四半期純利益	1,486	285

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,486	285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	483
繰延ヘッジ損益	8	-
その他の包括利益合計	66	483
四半期包括利益	1,419	769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,419	769

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

連結会社以外の会社に対して以下のとおり保証を行っております。

(1) 借入債務に対する保証

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
(有)マミー	136百万円	131百万円
(株)サンライズ	199 "	721 "
計	335百万円	852百万円

(2) 仕入債務等に対する保証

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
(株)パーティハウス	10百万円	17百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)
減価償却費	4,587百万円	4,675百万円
のれんの償却額	512 "	341 "

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月18日 定時株主総会	普通株式	581	13.00	平成24年2月20日	平成24年5月21日	利益剰余金
平成24年10月1日 取締役会	普通株式	580	13.00	平成24年8月20日	平成24年10月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月17日 定時株主総会	普通株式	580	13.00	平成25年2月20日	平成25年5月20日	利益剰余金
平成25年9月30日 取締役会	普通株式	580	13.00	平成25年8月20日	平成25年10月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)

当社グループにおける報告セグメントはスーパーマーケット事業のみであり、開示情報として重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	33円25銭	6円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,486	285
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,486	285
普通株式の期中平均株式数(千株)	44,689	44,681
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		6円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(千株)		0
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第45期(平成25年2月21日から平成26年2月20日まで)中間配当については、平成25年9月30日開催の取締役会において、平成25年8月20日の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	580百万円
1株当たりの金額	13円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年10月25日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月26日

株式会社オークワ
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高 田 喜 次 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 清 水 和 也 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 鎌 田 修 誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オークワの平成25年2月21日から平成26年2月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年8月21日から平成25年11月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年2月21日から平成25年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オークワ及び連結子会社の平成25年11月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。